

全国港湾22FAX第80号

2023年4月4日

全国港湾書記局

4/4 中央事前協議会の協議経過について

1. 4月4日(火)11時00分より開催した中央事前協議会は、荷主・ユーザー等が港湾地域に倉庫・物流施設を建・増設し、稼働する事案9件、革新船に係る事前協議事案39件(重要案件0件、3月30日までに地区に下した軽微事案39件)について協議を行なった。その結果、施設案件の4件を了承し、その他の4件は、詳細な作業体制を確認するため、中央保留・地区先行協議とし、地区協議に付すこととした。また、遠隔操作RTGを導入する事案の1件については、組合側で現地視察を行い、その後、WG→親委員会→事前協議会で議論したいとした。
2. 中央保留・地区先行協議とした4件の事案は以下の通り。
 - (1) 整理番号(22-690) 大阪港埠頭ターミナル(株)が、大阪市此花区にあるテント倉庫を移動することについての事案は、地区での作業体制を確認したいとした。
 - (2) 整理番号(22-692) サンシャイン(株)と(株)プロロジスが大阪市咲洲地区にある「プロロジスパーク大阪5」の一部を借受け運営することについての事案は、地区での作業体制を確認したいとした。
 - (3) 整理番号(22-696) (株)Gioと関西1プロパティー特定目的株式会社が大阪市住之江区にある「大阪住之江物流センター」の一部を借受け運営することについての事案は、地区での作業体制を確認したいとした。
 - (4) 整理番号(22-697) 濃飛倉庫運輸(株)とコーナン商事(株)が大阪市住之江区にある「ロジポート大阪ベイ」の一部を借受け運営することについての事案は、地区での作業体制を確認したいとした。
3. 遠隔操作RTGを導入する件について
 - (1) 横浜港本牧BCターミナルQA、QBレーンに遠隔操作RTG2基を導入することについて、組合として現地を4月7日に視察するので、問題なければ、WG→親委員会→事前協議会で議論したいとした。
 - (2) 上記の手順について労使で確認した。
4. 報告案件について
 - (1) 2月度(2月27日)の事前協議会における重要案件の地区協議結果について、施設案件7件、船社案件2件の合計9件について了承されたことが報告された。
 - (2) 3月15日(臨時)事前協議会における重要案件の地区協議結果について、施設案件1件、名古屋港鍋田ふ頭コンテナターミナル(NUCT)T2バースに遠隔操作RTG7基を導入することについて了承されたことが報告された。
 - (3) コンテナ船等の代替配船に係わる報告案件(2月22日~3月30日)について、

邦船関係3件、外船関係70件が報告され、確認した。

5. 次回の中央事前協議会は、4月26日(水)、次々回（5月度）は5月26日(金)に開催することを確認した。

以上